



姉が高校受験の際に取り寄せた農芸高校のパンフレットに載っていた牛に興味を持ち、入学を決めました。畜産部では365日徹底した管理という目標のもと、日々、動物と近い距離で飼養管理に励む魅力から入部しました。畜産部で学んだ継続力や観察力、コミュニケーション能力を活かして、動物の魅力などをたくさん伝えられる飼育員になりたいです。  
(3年生・部長、佐々木 理来さん)



動物が好きで畜産など動物がいる学校を探したところ、京都では農芸高校だけなので、入学を決めました。そして、もっと深く動物に関わりたくて畜産部に。実家は非農家なうえ、入部直後でわからないことだらけですが、先輩や先生から言われたことを聞いて、吸収して、それを知識と技術に活かしていきたいです。目標は2年後の全共で賞を取る事です。  
(1年生、中井 蒼空さん)



動物好きな私は中学3年のときに、進路相談で先生が農芸高校を勧められました。オープンスクールでは部活動体験で畜産部に参加し、とても楽しかったこともあり、入学と入部を決めました。今、担当している哺乳子牛を元気に育てることが現在の目標です。将来は動物園など、動物に関わる仕事に就きたいです。  
(1年生、奥本 潤さん)



第10回全日本ブラック&ホワイトショウでリザーブグランドチャンピオンに輝いたグロリーオーサ クリーメル クラツシヤブル フィラを囲む畜産部の皆さん

概要

京都府立農芸高等学校・畜産部  
部員5名  
つなぎ牛舎、パイプラインミルクカー  
(経産牛16頭、搾乳牛12頭、育成牛16頭、和牛8頭)  
活動内容：2004年に設立された畜産部は、乳牛の改良や飼養管理技術の向上、観察力とコミュニケーション能力の習得を目標としている。今年4月に開催された第10回全日本ブラック&ホワイトショウでは、畜産部が出品したグロリーオーサ クリーメル クラツシヤブル フィラがリザーブグランドチャンピオンに輝くなど、多くの名牛を輩出することでも知られている。  
担当教諭：村西 聡 先生



酪農に憧れや興味を抱き、実践をとおして酪農を学ぶ学生達は今、何に興味を持ち、どのような活躍をしているのか？  
未来の酪農業界を担う期待の星を紹介！



畜産部では命の誕生や病気など、さまざまなことを経験します。経験を通じて課題にも直面します。経験値を上げて課題解決力を付けてもらい、それを将来に活かしてほしいです。また社会で必要なコミュニケーション能力も活動を通じて高めてくれればと思います、日々部員と接しています。  
(村西 聡先生)



NO.7

京都府立農芸高等学校



将来の夢を考えたときに、酪農家になることでした。京都府で牛がいる高校は農芸高校だったので、夢に向かって入学しました。畜産部では搾乳をはじめ飼養管理技術を学べます。それが将来につながるため畜産部へ入部しました。私の住む町には酪農家はいません。ですから将来は地元で牛舎を建て、新規就農して地域を盛り上げていきたいです。  
(2年生・副部長、坂本 慶栄さん)



テレビで農芸高校の畜産について紹介している番組を見て、ビビッときました。オープンスクールに参加して、「ここで勉強したい」と入学を決めました。校内や教室にはたくさんのトロフィーが飾られ、少ない部員なのに、こんなに賞が取れるのかと驚き、憧れました。今後は共進会やいろいろな発表会に参加したいです。  
(1年生、黒澤 花歌さん)

学生牛部は今!